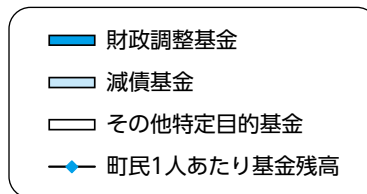
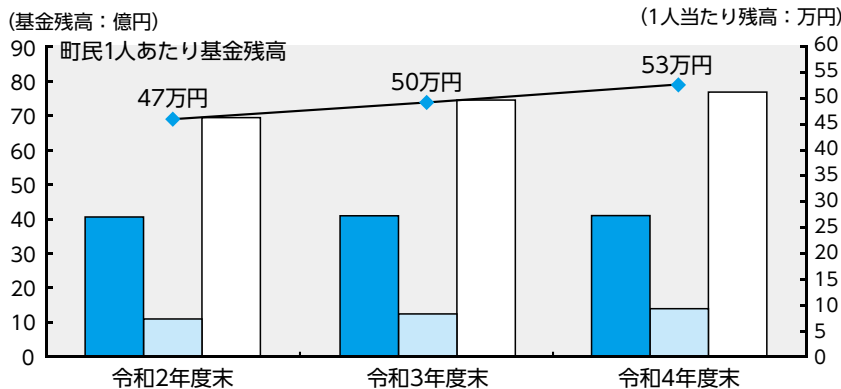


# 令和4年度 公営企業会計の決算状況

※税込み

水道事業会計	収入済額	支出済額	差引	令和4年度末地方債残高
1. 収益的収支	5億6,860万円	3億9,342万円	1億7,518万円	4億216万円
2. 資本的収支	446万円	1億5,187万円	▲1億4,741万円	

## 基金残高の状況

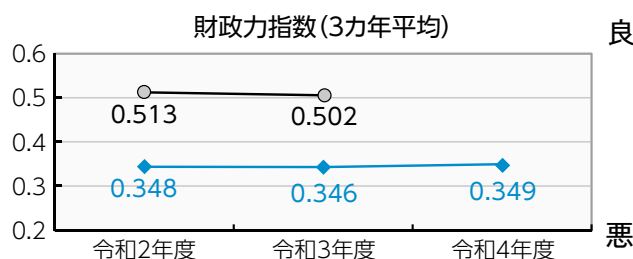
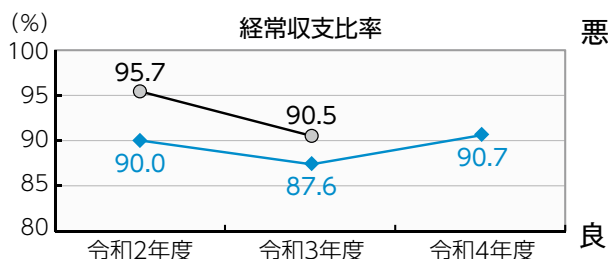


令和4年度において、主に積み立てたものとしては、ふるさと応援基金へ6億2,790万円、減債基金へ2億4,147万円、デジタル社会推進基金へ6,482万円です。

また、公共施設の整備や大規模改修等を実施するために公共施設整備基金から1億2,500万円を取り崩し、その他目的基金から取り崩したものとしては、ふるさと応援基金の2億2,505万円が主なものです。

財政調整基金	41億3,589万円	41億4,148万円	41億4,601万円
減債基金	10億4,552万円	13億4,693万円	15億8,841万円
其他目的基金	70億6,996万円	75億2,875万円	78億7,148万円
合計	122億5,137万円	130億1,716万円	136億590万円

## 主な財政指標



### ○経常収支比率について

当比率は、人件費・扶助費・公債費などの経常的な経費に充当された一般財源の額が、地方税や普通交付税などの一般財源の合計に占める割合を表し、比率が低いほど財政構造に余裕があると言われています。

令和4年度の比率については、前年度に比べ3.1ポイント増加しました。

### ○財政力指数について

地方交付税にどれだけ頼らずに財政運営をしているかを表し、指数が1.0に近いほど財源に余裕があると言われています。

令和4年度の指数は0.349となっており、一般財源の多くを地方交付税等で賅っている状況です。

※各指標に係る、令和4年度の県内市町村平均値は公表されておりません。

◆ 有田川町 ○ 県内市町村平均

## 用語解説

**水道事業**／上水道事業は「企業会計」です。収益的収支とは、水道料金を主な財源とし、施設の維持管理や借入金利息返済などを行います。資本的収支とは、借入金などを主な財源とし、施設の建設や借入金元金返済などを行います。

**基金**／特定の目的のために、維持あるいは積み立てられる資金または財

産。財政調整基金は、地方公共団体における年度間の財源の不均等を調整するために設けられる基金のことで、減債基金は、地方債の償還（返済）を年度を越えて計画的に行うために設けられる基金のことです。